

古墳時代②～飛鳥時代① <俯瞰図 pt.2>

対外関係		国内情勢	墓制	
古 墳 時 代	4世紀	<p>391年～朝鮮半島へ出兵 (高句麗の好太王に敗れる) ← 4世紀中～ヤマト政権の成立 (畿内・瀬戸内の豪族を中心に連合) → 朝鮮半島の戦乱状態(10年余り)</p> <p>4世紀末～<u>渡来人</u>の来日 (応神天皇の頃に渡来) 弓月君 (秦氏の祖)・阿知使主 (東漢氏の祖)・壬仁 (西文氏の祖)</p>	前期 前方後円墳築造 (畿内中心) → 竪穴式石室 (追葬は不可能) ex. 箕墓古墳 (奈良県)	古墳・地域 副葬品・被葬者 玉・鏡 (呪術的支配者)
	5世紀	<p>南朝の宋に朝貢 (高句麗を牽制するため) ← 5世紀～ヤマト政権の支配地域が全国に拡大 → 倭の五王 (讚・珍・済・興・武) が遣使 ★朝鮮南部をめぐる軍事・政治上の立場を優位にするため</p> <p>478年 倭王武 (雄略天皇) の上表文 ※済 (允恭天皇)・興 (安康天皇)・武 (雄略天皇)</p>	中期 規模が巨大化 (全国に拡大) → 竪穴式石室 (追葬は不可能) ex. 熊本県江田船山古墳出土鉄刀 埼玉県稻荷山古墳出土鉄劍 (471) 「獲加多支歎天王」 (雄略天皇に比定される) に仕える	武具・馬具 (武人的支配者)
	6世紀	<p>6世紀～<u>新羅</u>の勢力拡大 (高句麗・百濟・伽耶へ侵攻)</p> <p>(1) 新羅に圧迫された百済は倭に援軍を要請 → 507年 隆豪天皇即位 (武列天皇の死後に擁立される)</p> <p>(2) 南加羅が新羅に奪われたため倭は新羅征討を計画 → 512年 大伴金村が任那4県を百済に割譲</p> <p>→ のち新羅により伽耶諸国 (加羅・任那) は滅亡 (562)</p> <p>(3) 百済が再び援軍を要請するたびに仏教を伝える → 6世紀 仏教公伝 (538年説 or 552年説) → 百済の聖明王が欽明天皇に仏教を伝える</p>	後期 規模が縮小 群集墳 (小規模な円墳の集まり) ← (有力農民の台頭) → 横穴式石室 (追葬が可能) ex. 岩橋千塚 (和歌山県)	土師器・須恵器
	7世紀			
	8世紀			
	9世紀			
	10世紀			
	11世紀			
	12世紀			
	13世紀			
飛 鳥 時 代	敏達			
	用明	(589年 隋の建国) (→隋に服従しない高句麗征伐をめざす)	587年 丁未の乱 (蘇我馬子が物部守屋を滅ぼす)	
	崇峻		592年 蘇我馬子が崇峻天皇を暗殺	
	推古	<p>大王家の権威が失墜</p> <p>大王家の権威回復を計画</p> <p>600年 第1次遣隋使 (『隋書』倭国伝のみ記載されている) ← 593年 隋の文帝から倭の風俗をたしなめられる (602年に帰国) → 603年 冠位十二階 (才能や功績に応じて個人に冠位を与える)</p> <p>607年 第2次遣隋使 (小野妹子を派遣し、煩帝に国書を提出) ← 604年 憲法十七条 (天皇への服従など官人に対する道徳的訓戒)</p>	592年 推古天皇 (最初の女帝) が即位 厩戸王 (聖德太子) が摂政に就任 冠位十二階 (才能や功績に応じて個人に冠位を与える) 憲法十七条 (天皇への服従など官人に対する道徳的訓戒)	